



平成29年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年9月30日

上場会社名 山下医科器械株式会社
 コード番号 3022 URL <http://www.yamashitaika.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山下 尚登
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 伊藤 秀憲
 四半期報告書提出予定日 平成28年10月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 092-726-8200

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年5月期第1四半期の連結業績(平成28年6月1日～平成28年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|-------------|--------|-----|------|---|------|---|------------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 29年5月期第1四半期 | 11,868 | 3.5 | △36 | — | △30 | — | △30 | — |
| 28年5月期第1四半期 | 11,470 | 8.4 | △4 | — | 15 | — | 0 | — |

(注) 包括利益 29年5月期第1四半期 △88百万円 (—%) 28年5月期第1四半期 29百万円 (107.8%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 29年5月期第1四半期 | △11.99 | — |
| 28年5月期第1四半期 | 0.10 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | |
|-------------|--------|---|-------|---|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 29年5月期第1四半期 | 16,533 | — | 5,779 | — | 34.9 | — |
| 28年5月期 | 18,725 | — | 5,993 | — | 32.0 | — |

(参考) 自己資本 29年5月期第1四半期 5,777百万円 28年5月期 5,991百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | | 合計 |
|------------|--------|--------|--------|-------|-----|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 円 銭 | |
| 28年5月期 | — | 0.00 | — | 50.00 | 円 銭 | 50.00 |
| 29年5月期 | — | — | — | — | 円 銭 | — |
| 29年5月期(予想) | — | 0.00 | — | 35.00 | 円 銭 | 35.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年5月期の連結業績予想(平成28年6月1日～平成29年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|-----------|--------|-----|------|-------|------|-------|-----------------|-------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 26,000 | 6.0 | 148 | △23.4 | 178 | △20.5 | 92 | △31.6 | 36.84 |
| 通期 | 54,695 | 6.0 | 418 | △28.5 | 488 | △23.1 | 285 | △14.1 | 113.90 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 29年5月期1Q | 2,553,000 株 | 28年5月期 | 2,553,000 株 |
| ② 期末自己株式数 | 29年5月期1Q | 47,484 株 | 28年5月期 | 47,484 株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 29年5月期1Q | 2,505,516 株 | 28年5月期1Q | 2,552,016 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、【添付資料】3ページ「1. (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する定性的情報 | 3 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | 4 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 4 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 4 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 4 |
| (4) 追加情報 | 4 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| 四半期連結損益計算書 | 7 |
| 四半期連結包括利益計算書 | 8 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 9 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 9 |
| (セグメント情報等) | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府や日銀による各種政策効果を背景に、雇用・所得環境等に一定の改善の動きが見られたものの、英国のEU離脱問題など、海外経済の不確実性の高まりと、それによる金融資本市場の動揺により、全体としては不安定な状況で推移いたしました。

医療業界におきましては、地域包括ケアシステム構築の中心課題である在宅医療の提供体制整備に向けて、政府主催の有識者会議が発足し、具体的な方策、活動の重点分野策定への取り組みが開始されております。各都道府県においては、今年度末を目途として地域医療構想の策定が進められており、これにより病床の機能分化・連携を推進することとされております。また、先行する都府県では、構想案や素案の公開が始まっております。

当医療機器業界におきましては、平成28年度診療報酬改定による医療材料の価格低下や、医療機関のコスト削減要請の高まり等により、業者間の競争が激化しており、一部に業界再編の動きも見られております。

このような状況の中、当社グループでは、医療機関における消耗品管理の効率化やコスト削減提案を進め、基盤事業であるSPD事業の拡大に取り組んでおります。今年度は特に、本年9月の長崎TMSセンター稼働により、物流体制の充実による商品供給の迅速化・安定化が可能となることから、これを顧客基盤の拡大につなげるべく、営業活動の強化を図っております。また、今後の需要増加が見込まれる介護分野での事業展開を図るため、本年6月に「ヘルスケア事業推進部」を新設し、当社グループが出資しております国内の新興企業が開発する介護関連製品の取り扱いを開始しております。また、前年度に新設したMIT推進部とグループ合弁会社との連携強化により、医療IT分野での事業展開を図る他、整形分野における子会社事業の強化、医療モール事業の収益向上等に取り組んでおります。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は118億68百万円（前年同四半期比3.5%増）となり、利益面につきましては、長崎TMSセンター設立に伴う販売費及び一般管理費（消耗品費等）の増加により36百万円の営業損失（前年同四半期は4百万円の営業損失）、経常損益は合弁会社に対する持分法投資損失計上等により30百万円の経常損失（前年同四半期は15百万円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は30百万円（前年同四半期は0百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

① 医療機器販売業

医療機器販売業のうち一般機器分野では、大型の病院施設新築移転案件等に伴う超音波診断装置等の医療機器備品や、MRI等の画像診断・放射線機器の売上増加により20億30百万円（前年同四半期比26.1%増）となりました。一般消耗品分野では、SPD契約施設数の変動に伴う医療機器消耗品の売上減少により47億74百万円（前年同四半期比1.7%減）となりました。内視鏡、サージカル、循環器等により構成される低侵襲治療分野では、電子内視鏡システム等の内視鏡備品や、レーザー手術装置等のサージカル備品の売上増加により31億99百万円（前年同四半期比4.2%増）となりました。整形、理化学、眼科、皮膚・形成により構成される専門分野では、前出の新築移転案件等に伴う検査関連機器及び病理・解剖機器等の理化学備品の売上増加により15億37百万円（前年同四半期比1.8%増）となりました。医療情報、設備、医療環境等により構成される情報・サービス分野では、医療ITメーカーとの合弁会社設立に伴う電子カルテシステム等の医療IT備品の売上減少により2億42百万円（前年同四半期比29.6%減）となりました。

この結果、医療機器販売業の売上高は117億84百万円（前年同四半期比3.4%増）、セグメント利益は1億8百万円（前年同四半期比32.7%減）となりました。

医療機器販売業の売上高は次のとおりであります。

(単位：百万円)

| 区分 | 前第1四半期連結累計期間 | | 当第1四半期連結累計期間 | | 増減額 | 前年同期比 (%) |
|-----------|--------------|--------|--------------|--------|------|--------------|
| | 金額 | 構成比(%) | 金額 | 構成比(%) | | |
| 一般機器分野 | 1,610 | 14.1 | 2,030 | 17.2 | 420 | 126.1 |
| 一般消耗品分野 | 4,856 | 42.6 | 4,774 | 40.5 | △82 | 98.3 |
| 低侵襲治療分野 | 3,071 | 27.0 | 3,199 | 27.2 | 128 | 104.2 |
| 専門分野 | 1,510 | 13.3 | 1,537 | 13.0 | 26 | 101.8 |
| 情報・サービス分野 | 344 | 3.0 | 242 | 2.1 | △101 | 70.4 |
| 小計 | 11,392 | 100.0 | 11,784 | 100.0 | 391 | 103.4 |

② 医療モール事業

医療モール事業におきましては、主として賃料収入により売上高は18百万円（前年同四半期比0.6%増）、セグメント損失は0百万円（前年同四半期は1百万円のセグメント利益）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産の部)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、165億33百万円となり、前連結会計年度末に比べて21億91百万円減少いたしました。流動資産は、主に現金及び預金の減少により、前連結会計年度末に比べて25億84百万円減少し、114億90百万円となりました。固定資産は前連結会計年度末に比べて3億92百万円増加し、50億42百万円となりました。

(負債及び純資産の部)

負債は、支払手形及び買掛金、賞与引当金の減少等により、前連結会計年度末に比べて19億77百万円減少し、107億54百万円となりました。また、純資産は、前連結会計年度末に比べて2億13百万円減少し、57億79百万円となり、自己資本比率は34.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する定性的情報

平成29年5月期の連結業績予想につきましては、平成28年7月11日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成28年5月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成28年8月31日) |
|-------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 3,544,803 | 1,162,351 |
| 受取手形及び売掛金 | 8,357,745 | 7,887,653 |
| 商品 | 1,855,305 | 2,105,707 |
| 未収還付法人税等 | 238 | 37 |
| その他 | 328,904 | 346,492 |
| 貸倒引当金 | △12,322 | △11,597 |
| 流動資産合計 | 14,074,674 | 11,490,644 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 2,379,481 | 2,379,481 |
| 減価償却累計額 | △1,331,170 | △1,351,504 |
| 建物及び構築物(純額) | 1,048,311 | 1,027,977 |
| 土地 | 1,769,927 | 1,769,927 |
| 建設仮勘定 | 885,258 | 1,361,136 |
| その他 | 544,891 | 564,127 |
| 減価償却累計額 | △476,181 | △484,461 |
| その他(純額) | 68,709 | 79,666 |
| 有形固定資産合計 | 3,772,207 | 4,238,707 |
| 無形固定資産 | 27,166 | 26,652 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 592,340 | 498,888 |
| 関係会社株式 | 10,488 | — |
| その他 | 248,339 | 278,583 |
| 投資その他の資産合計 | 851,168 | 777,471 |
| 固定資産合計 | 4,650,542 | 5,042,832 |
| 資産合計 | 18,725,217 | 16,533,477 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 11,119,374 | 9,697,988 |
| 未払法人税等 | 217,525 | 10,568 |
| 賞与引当金 | 429,489 | 86,934 |
| その他 | 434,955 | 424,325 |
| 流動負債合計 | 12,201,345 | 10,219,816 |
| 固定負債 | | |
| 退職給付に係る負債 | 312,257 | 315,624 |
| その他 | 218,307 | 218,621 |
| 固定負債合計 | 530,564 | 534,245 |
| 負債合計 | 12,731,909 | 10,754,062 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成28年5月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成28年8月31日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 494,025 | 494,025 |
| 資本剰余金 | 627,605 | 627,605 |
| 利益剰余金 | 4,772,022 | 4,616,716 |
| 自己株式 | △84,280 | △84,280 |
| 株主資本合計 | 5,809,371 | 5,654,066 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 306,425 | 239,841 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △124,254 | △116,314 |
| その他の包括利益累計額合計 | 182,171 | 123,526 |
| 非支配株主持分 | 1,764 | 1,821 |
| 純資産合計 | 5,993,307 | 5,779,414 |
| 負債純資産合計 | 18,725,217 | 16,533,477 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成27年8月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成28年8月31日) |
|---|---|---|
| 売上高 | 11,470,577 | 11,868,370 |
| 売上原価 | 10,160,556 | 10,568,439 |
| 売上総利益 | 1,310,021 | 1,299,931 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,314,807 | 1,336,539 |
| 営業損失(△) | △4,786 | △36,608 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 1,139 | 16 |
| 受取配当金 | 1,768 | 2,345 |
| 仕入割引 | 10,326 | 9,366 |
| 受取手数料 | 4,478 | 4,469 |
| その他 | 3,757 | 3,426 |
| 営業外収益合計 | 21,470 | 19,624 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 629 | 341 |
| 持分法による投資損失 | — | 10,488 |
| 手形売却損 | — | 680 |
| その他 | 807 | 1,882 |
| 営業外費用合計 | 1,437 | 13,392 |
| 経常利益又は経常損失(△) | 15,246 | △30,376 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 12 | — |
| 特別損失合計 | 12 | — |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△) | 15,233 | △30,376 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 6,001 | 6,627 |
| 法人税等調整額 | 8,914 | △7,030 |
| 法人税等合計 | 14,916 | △403 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | 317 | △29,972 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 66 | 56 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会 社株主に帰属する四半期純損失(△) | 250 | △30,029 |

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成27年8月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成28年8月31日) |
|-------------------|---|---|
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | 317 | △29,972 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 28,390 | △66,583 |
| 退職給付に係る調整額 | 511 | 7,939 |
| その他の包括利益合計 | 28,902 | △58,644 |
| 四半期包括利益 | 29,220 | △88,617 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 29,153 | △88,673 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 66 | 56 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自平成27年6月1日至平成27年8月31日)

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注1) | 調整額 (注2) | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注3) |
|-----------------------|-------------|-------------|------------|-------------|-------------|-------------------------------|
| | 医療機器 販売業 | 医療モール 事業 | 計 | | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 11,346,331 | 18,125 | 11,364,457 | 106,120 | — | 11,470,577 |
| セグメント間の 内部売上高又は振替高 | 46,072 | — | 46,072 | — | △46,072 | — |
| 計 | 11,392,404 | 18,125 | 11,410,530 | 106,120 | △46,072 | 11,470,577 |
| セグメント利益又は損失(△) | 161,880 | 1,421 | 163,302 | 3,054 | △171,143 | △4,786 |

(注) 1 「その他」の区分は、主として自社グループ開発製品である整形外科用インプラントを製造・販売しております。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△171,143千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△172,605千円、棚卸資産の調整額等1,462千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社(提出会社)の管理部門等に係る費用であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自平成28年6月1日至平成28年8月31日)

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注1) | 調整額 (注2) | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注3) |
|-----------------------|-------------|-------------|------------|-------------|-------------|-------------------------------|
| | 医療機器 販売業 | 医療モール 事業 | 計 | | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 11,781,778 | 18,240 | 11,800,019 | 68,351 | — | 11,868,370 |
| セグメント間の 内部売上高又は振替高 | 2,300 | — | 2,300 | 11 | △2,311 | — |
| 計 | 11,784,078 | 18,240 | 11,802,319 | 68,363 | △2,311 | 11,868,370 |
| セグメント利益又は損失(△) | 108,911 | △439 | 108,472 | 3,752 | △148,832 | △36,608 |

(注) 1 「その他」の区分は、主として自社グループ開発製品である整形外科用インプラントを製造・販売しております。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△148,832千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△149,132千円、セグメント間取引消去300千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社(提出会社)の管理部門等に係る費用であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。